

1. 活動の概要

6月23日(火)、石見養護学校児童小学部5・6年児童2名、中学部1年生徒6名のみなさんと『心に残る文化財子ども塾』をおこないました。テーマは「道具を通して歴史にふれよう!」です。

最初に、現代の炊飯ジャーやちょっと昔の炊飯道具を、年表をみながら学習しました。電気もガスもない時代、どうやってお米を焚いていたのかな。つぎに町内にある遺跡から見つかった古墳時代の竪穴住居から見つかった土器を観察。もっともっと昔、縄文時代の土器・石器も手に取って観察しました。

そのあとは、いよいよ火おこし体験です。2~3名のグループに分かれて、火おこしスタート。煙はでるのに、なかなか火が付きません。やっと2つのグループが火をおこすことに成功しました。

本物に触れ、火おこしを体験することで、はるか昔の邑南町に暮らしていたひとびとの歴史が、身近なものとして感じられたのではないのでしょうか。

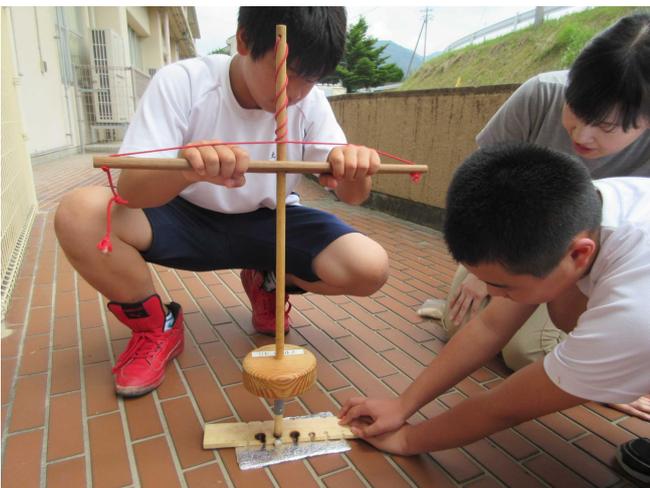
2. 活動の様子



↑ むかしの家はこんな感じです



↑ ほんものの土器に触った!



← 火おこしに挑戦中!!

①児童たちから

「むかしの道具をみたことが心に残った」

「火おこし体験が楽しかった」

②担任の先生から

「実体験をともなった学習で、記憶にのこる学びとなった」

「本物に触れるとても貴重な体験ができた」

③センターからひとこと

「むかしの道具に触れる体験をとおして、住んでいる地域の歴史に興味をもってもらえたのが嬉しいです。火おこし体験もうまく火がついてよかったです。機会があれば、ほかの古代体験に挑戦してみてください。小学部・中学部のみなさん、先生方ありがとうございました」